

資料2

みどりの推進課報告事項(12月)

平成こども塾プログラム

(単位/人) 令和元年12月15日現在

No.	日	曜日	プログラム名	定員	子ども	大人	未就学	備考
1	1	日	鳥凧作り	15	4	4	2	
2	7	土	こどもファーム (秋野菜の手入れと収穫)	年間会員36	11	10	4	
3	7	土	里山冒険クラブ (マイたき火)	年間会員21	17	18	3	
4	7	土	キッズ放送隊 お礼状作りと講座(PM)	年間会員9	4	3	0	
5	14	土	こどもファーム (秋野菜収穫)	年間会員36	10	10	3	
6	15	日	干支作り(ねずみ)	25				
7	21	土	餅つき(終日)	年間会員36 +一般20				
8	22	日	暮らしの道具作りと料理教室 (ベトナム ほうき作りとベトナム料理)	年間会員32				

学校連携プログラム

No.	日(曜日)	プログラム名	子ども	大人	備考
1	4日(水)~6日(金)	西小2年(餅つき)	84	6	

みどりの推進課報告事項(1月実施予定)

平成こども塾プログラム

(単位/人) 令和元年12月15日現在

No.	日	曜日	プログラム名	定員	子ども	大人	未就学	備考
1	5	日	お正月遊び	50 (保護者含む)				
2	11	土	鏡開き	年間会員36 +一般20				
3	13	月・祝	キッズ放送隊 ラジオ出演(PM)	年間会員9				
4	18	土	ネイチャーゲーム (木と友だちになろう)	年間会員9				
5	18	土	こどもファーム	年間会員36				
6	19	日	暮らしの道具作りと料理教室 (スペイン靴作りとスペインの お菓子作り)	年間会員32				
7	25	土	豆腐作り	40 (保護者含む)				

学校連携プログラム

No.	日(曜日)	プログラム名	子ども	大人	備考
1	15日(水)~17日(金)	南小3年 (おこしもの)			
2	23日(木)・24日(金)	東小3年 (五平餅)			
3	29日(水)~31日(金)	北小3年 (おこしもの)			

令和元年度平成こども塾事業進捗状況管理表

	事業名	課題	目標	実施項目	進捗状況・結果	年間スケジュール												備考		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	学校連携プログラム実施事業	今の子どもは、地域の歴史、文化、食等に触れる機会がほとんどない。	長久手の歴史、文化、食等を子どもたちに分かりやすく教え、体験させる。 満足度を90%以上を保ち続ける。 (学校連携プログラム数：当初66回→変更後71回)	1 飯ごう炊さんをする。 2 セタ飾りを作る。 3 おこしもの作りをする。 4 餅つきをする。 5 焼き芋を作る。 6 五平餅を作る。	最終クラス数確定により日程の確定 これから、各小学校とプログラム打合せを順次実施(学校連携プログラム：予定数71回のうち 56回実施済) ※内訳 小学校51回、現職教育2回、適応指導教室2回、特別支援学級1回	実施回数 1 予定回数 1 学校連携プログラムの実施 現職教育研修 事前打合せ(随時) 日程等調整	4月～12月計 56 56 学校連携プログラムの実施 次年度実施内容・日程等調整 事前打合せ(随時)													
2	プレーパーク(子どもの自由な遊び場)の推進	1 プレーパークとは何かが地域の人に知られていない。 2 候補地が決まっていない。	1 プレーパークとは何かを地域の人に周知する。 2 組織化の研究	1 先進地視察研修		打ち合せ 起案作成(依頼文・案内送付) 郊外型プレーパーク視察(6/8) お礼状送付・報告書作成 予定講師の別講演会に参加														
				2 講演会の実施	6月8日に美濃プレーパークへ視察 6月27日開催の平成こども塾運営委員会で経過報告 11月30日開催の講演会・講師：塚本岳(つかもとたけし)氏 ・タイトル：「心の根っこは自然遊びで育つ ～プレーパークってなに?～」 11月21日(木)最終打合せ及びいのみ池プレイパーク見学。 11月30日講演会実施	講師選定 打ち合せ タイトル決定 11月号広報原稿作成・掲載 講演内容打合せ 11/21講演内容最終打合せ 周知活動(チラシ作成・配布等) 講演会実施済み(11/30)、講師料支払起票済み ニュースター作成(12/20発行)														
				3 プレーパークの試行		打ち合せ等 広報原稿作成 会場備品準備、最終打合せ等 プレーパーク試行(10/14こども塾まつり)														
				4 組織化の研究		視察(6/8) プレーパーク試行 講演会実施済み(11/30) プレーパーク全体の情報の蓄積、整理 課題の洗出し、次年度の取組検討														